

ケース学習をします。

各自で SV の経験も積まれていると思いますが、いかがでしょうか？

いつものように、まずは、統合（病の中心）まで、進めましょう。

全体の流れは・・・

①「Case Taking」--->②「特徴的な症状を捉える」--->③「前分析」--->
④「本分析」--->⑤「統合（病の中心）」--->⑥Rep.--->⑦レメディの決定
・・・という流れになります。

「本分析」の後には数個の過剰書き程度にして、そのケースにおける統合「病の中心」を表現して下さい。

ご存知のように、ケース学習の取り組み方の順序は、以下の通りです。

1. まず、ケースを一読して、ケースから受ける①印象を書き留める。
2. 再読して、クライアントの特徴的な点（症状）をピックアップする。
3. ピックアップした特徴的な点の全体を眺める。
4. これらを元に、「前分析」を試みる。（正確に分からなくても良い。）
- ②健康度（0～10）
- ③予後（良いレメディがある時／ない時）は、どうなるか？
- ④救急性（急性か慢性か～救急性があれば、まずはそこから始める）
- ⑤治癒を妨げているものの有無は？
- ⑥親和性（部位）
- ⑦マヤズム傾向（Psora Sycosis Syphilis Cancer TB 等）
- ⑧全体性（CASE での乱れはどこにあり、レメディはいくつ必要になるか？）
- ⑨バイタリティー
5. 本分析＝「何が癒されるべきか？」（病の中心 **Wesen**）をとらえる。
最終的には、「統合」として箇条書きにまとめると良い。
6. 「何が癒されるべきか？」から外れない症状を Rubrics として選び、レポートライズ（Rep.）する。
7. Rep.表の候補レメディから、ベストレメディを選ぶ。
8. 最終的には、ポテンシーとドーズを決めて、クライアントに提案する。

さて、CASE 学習では、この教室を出たら、決して、その内容について話すことなく、守秘義務を守って下さい。
では、始めましょう。